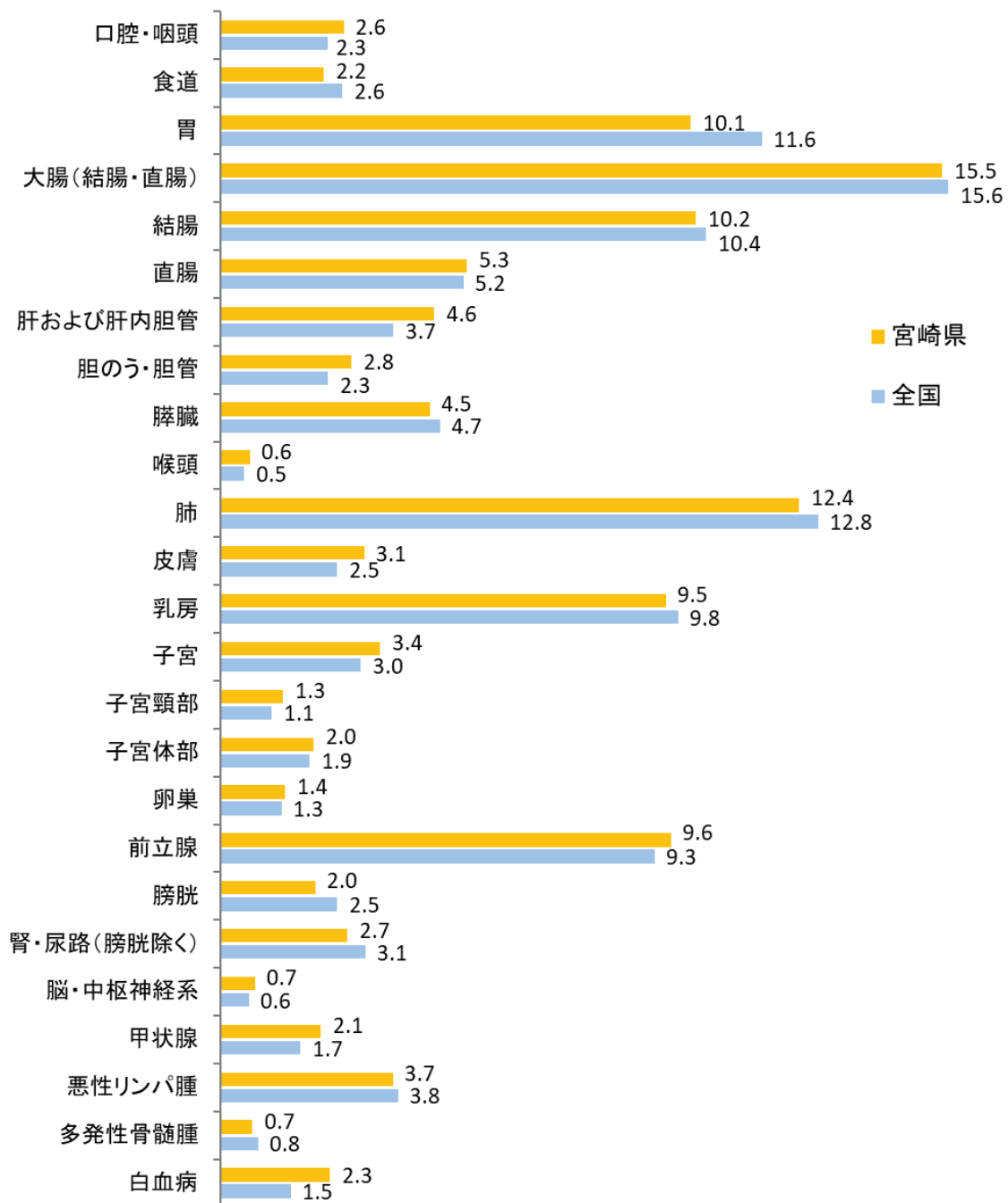


4 2020年がん罹患の概要

(1) 全体の概要 : 表1-A(上皮内がんを除く)から作成

2020年宮崎県の罹患数は、男性4,635件、女性3,711件の、合計8,346件であった。総計より、最も多いがんの発生部位は大腸(結腸・直腸)であり15.5%、肺12.4%、胃10.1%と続く。男性では、前立腺17.4%、大腸(結腸・直腸)16.2%、肺14.1%、胃12.6%であり、女性では、乳房21.3%、大腸(結腸・直腸)14.6%、肺10.3%、子宮7.7%であった。

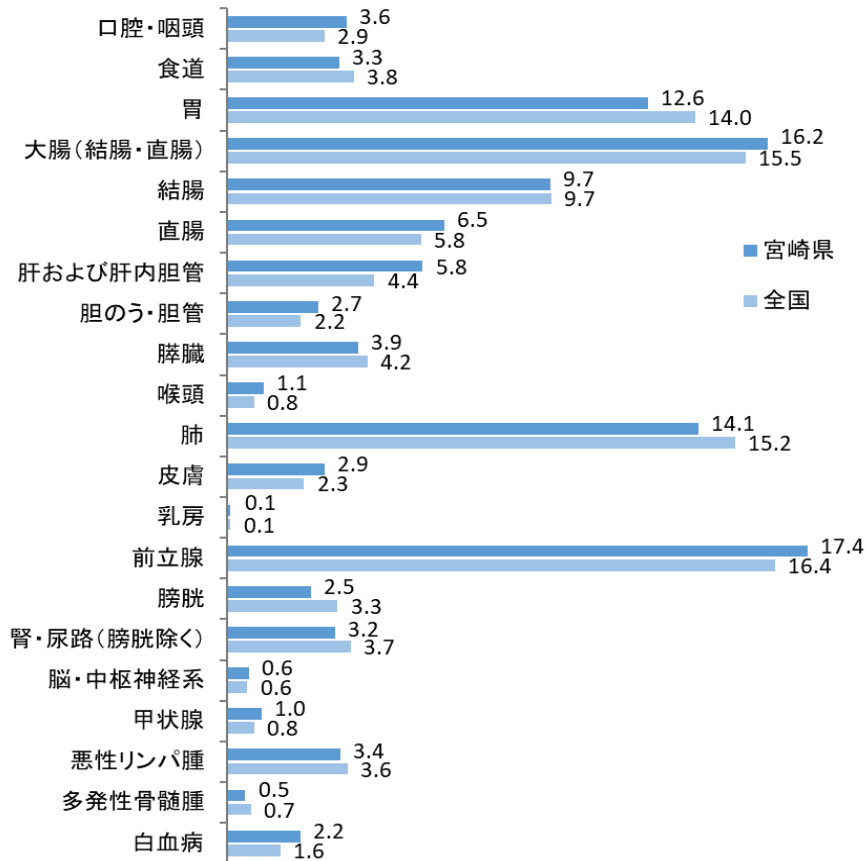
2020年罹患部位別割合(%) (全国比較)



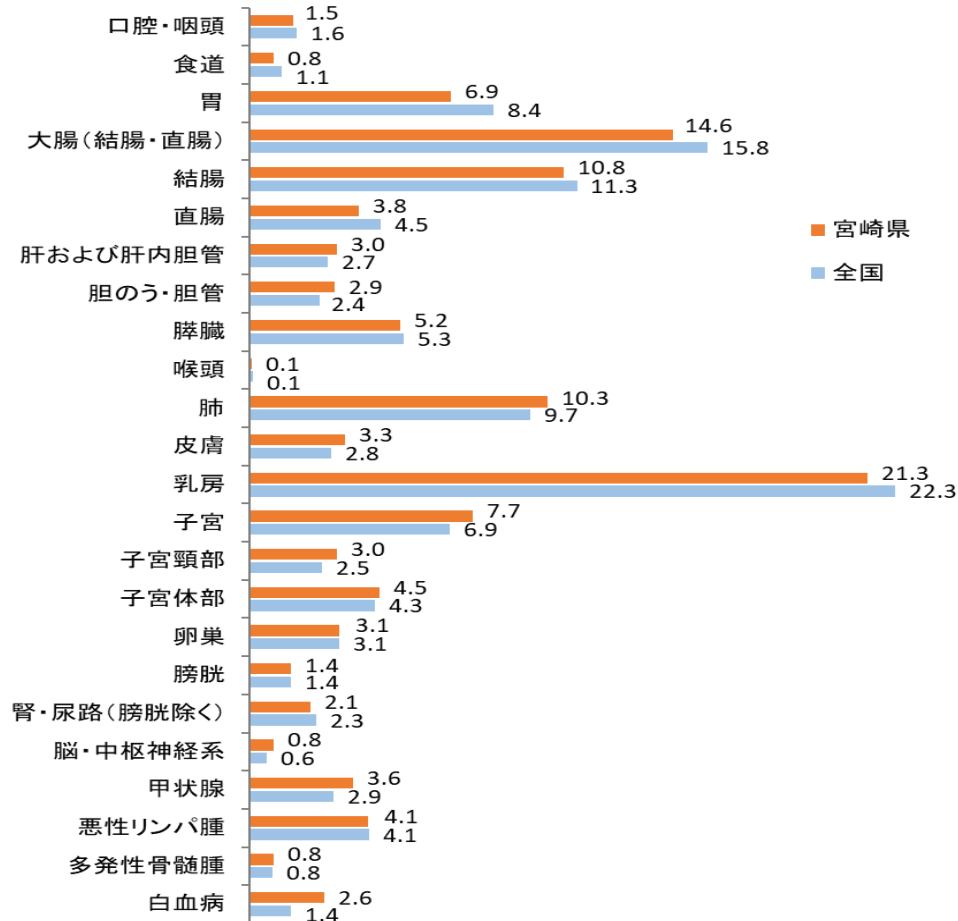
出典：全国値は、

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課「全国がん登録 罹患数・率報告 2020年」から抜粋

男性 罹患部位別割合(%) (全国比較)



女性 罹患部位別割合(%) (全国比較)

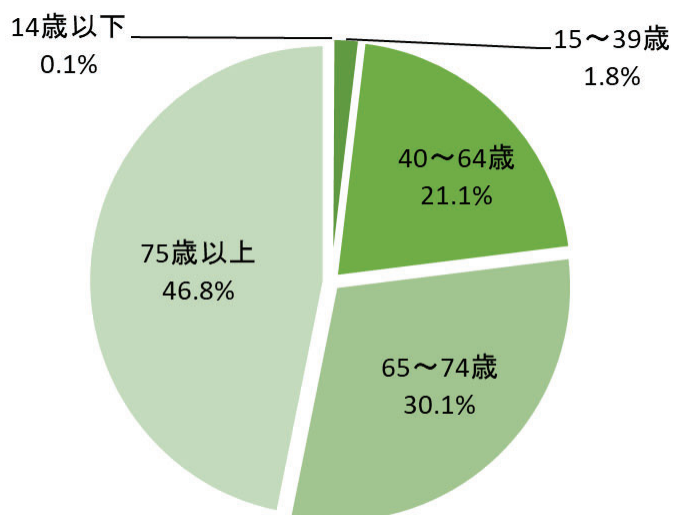


(2) 年齢階級別に見たがんの罹患 : 表2-A (上皮内がんを除く) から作成

年齢階級別にみると、75歳以上の割合は全体では46.8%、男性48.1%、女性45.3%であった。働き盛りの40~64歳では、男性16.8%、女性26.6%を占めている。男性の60歳から前立腺癌、女性の40歳から乳癌の罹患数がそれぞれ増加している。

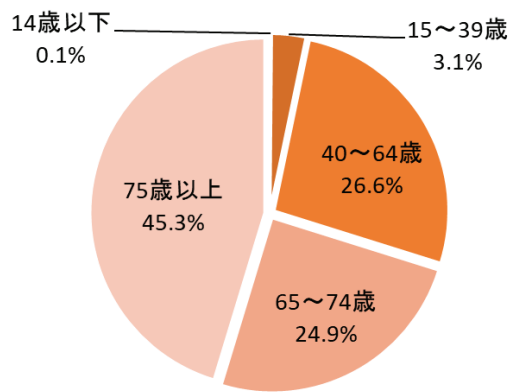
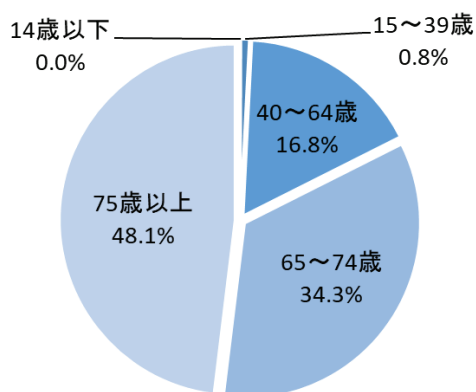
大腸がんは45歳から、また肺がんは55歳から徐々に多くなっている。

全体(件)	
14歳以下	7
15~39歳	151
40~64歳	1,764
65~74歳	2,515
75歳以上	3,909
合計	8,346



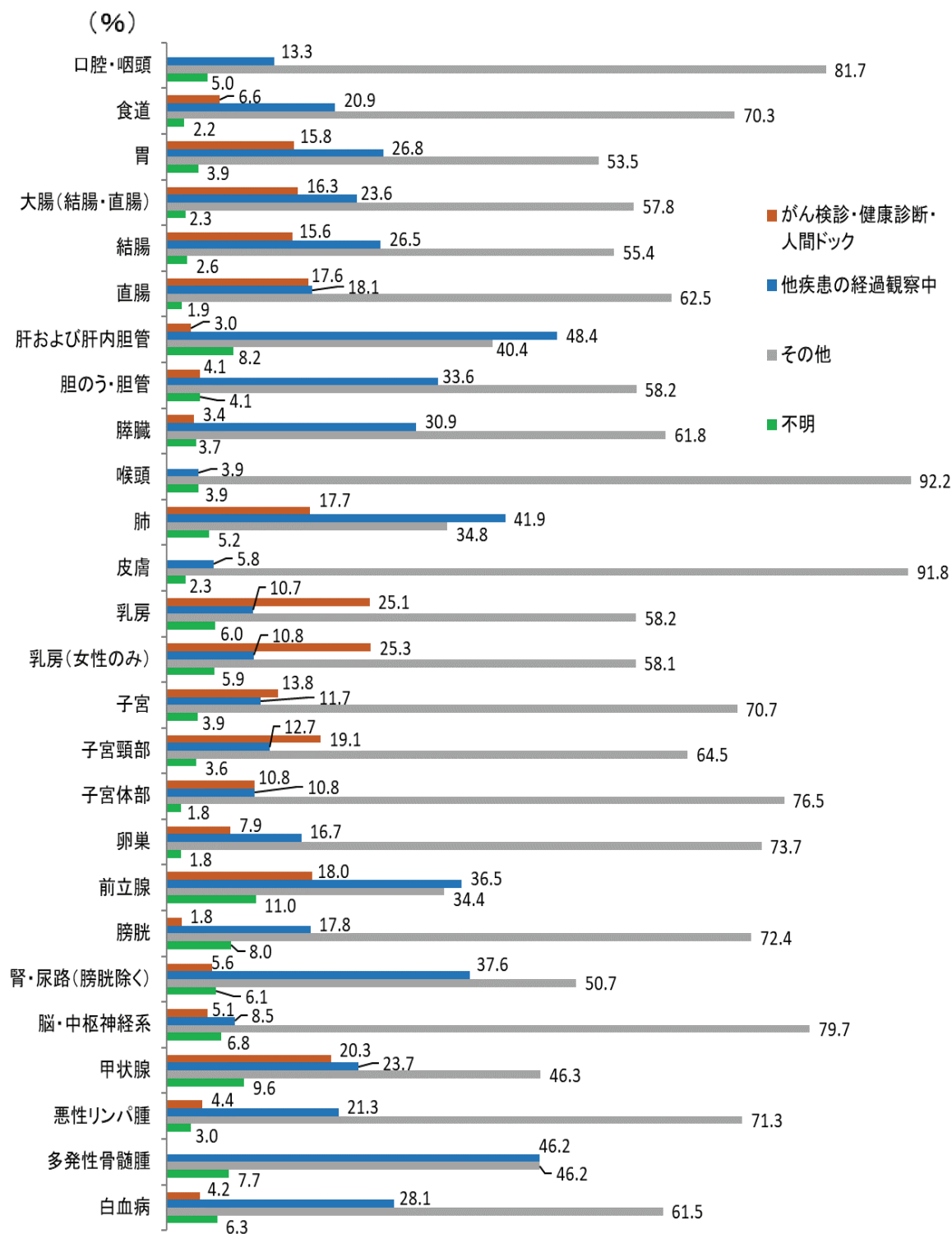
男性(件)	
14歳以下	2
15~39歳	35
40~64歳	778
65~74歳	1,592
75歳以上	2,228
合計	4,635

女性(件)	
14歳以下	5
15~39歳	116
40~64歳	986
65~74歳	923
75歳以上	1,681
合計	3,711

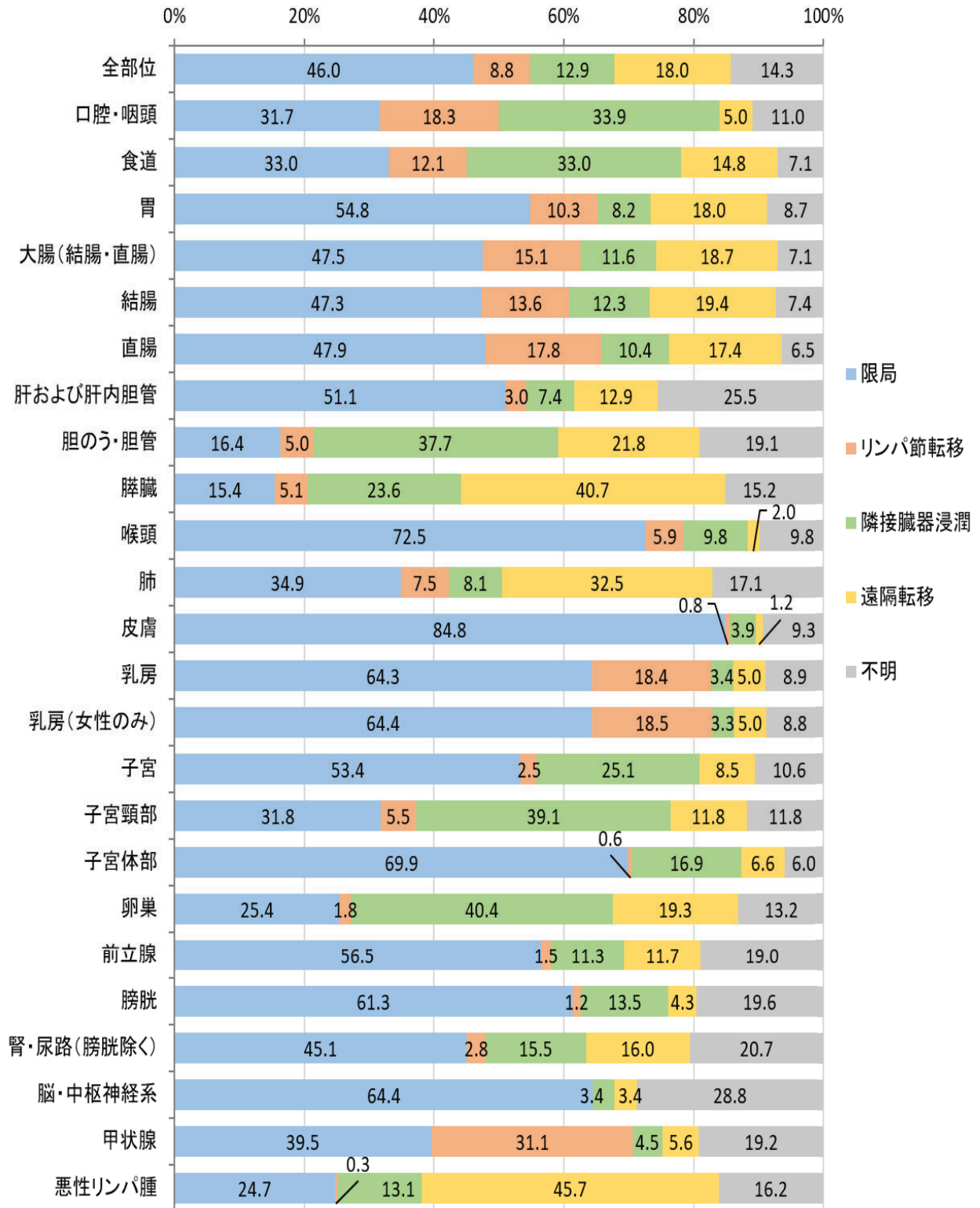


(3) 発見経緯から見たがんの罹患 : 表 4-A (上皮内がんを除く) から作成

部位別に見ると、肝および肝内胆管、多発性骨髄腫、肺は「他疾患の経過観察中」に発見された割合が高く、その他の部位は「その他 (症状受診含む)」で発見された割合が高かった。また、「がん検診・健康診断・人間ドック」を見ると乳房、前立腺の発見割合が高かった。

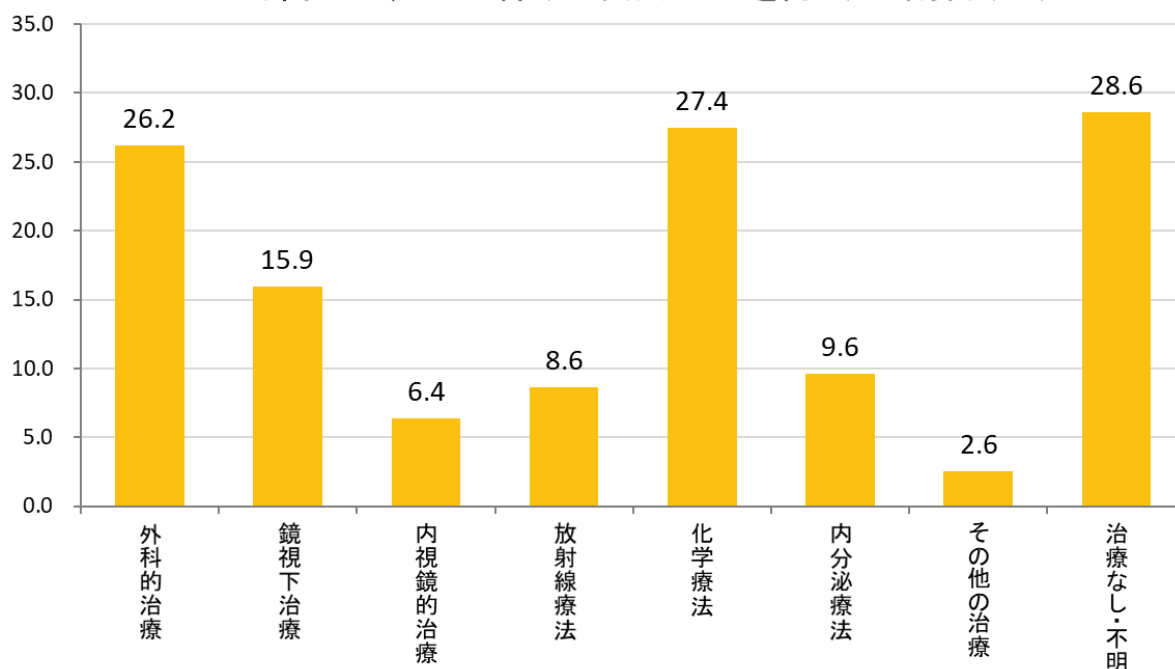


(4) 進展度分布から見たがんの罹患 : 表 5-1-A (上皮内がんを除く) から作成
 全部位の進展度を見ると、限局 46.0%、リンパ節転移 8.8%、隣接臓器浸潤 12.9%、遠隔転移 18.0%、不明 14.3%であった。限局の割合が 50.0%以上の部位は、胃、肝および肝内胆管、喉頭、皮膚、乳房、子宮体部、前立腺、膀胱および脳・中枢神経系であった。



(5) 初回治療内容から見たがんの罹患：表 6-A (上皮内がんを除く) 表 6-B (含む) から作成
 上皮内がんを除く全部位の初回治療内容を見ると、外科的 26.2%、鏡視下 15.9%、内視鏡的
 6.4%であった。また、放射線 8.6%、化学 27.4%、内分泌 9.6%であった。
 上皮内がんを除く、含むともにそれぞれ重複を含むため合計は 100%にはならない。

全部位 8, 088件(上皮内がんを除く)の割合(%)



全部位 8, 825件(上皮内がんを含む)の割合(%)

